

D-1 : 外部資金の獲得

開催日時・会場 9月18日(金曜日) 9:00 - 10:30 会場E

研究者が夢をかなえるために ～研究資金獲得+αのスキルアップ～

研究者としての人生を歩み始めてからというもの、研究者は真理への探究に全力を注ぎ、そのキャリアの階段を一段ずつ上っていく。一方で、主要な研究財源が公金であることから、特に昨今は、社会的課題解決への貢献が研究者に期待されている。従って、自分の研究と社会との接点を俯瞰することは研究者として早い時期に身に付けるべきスキルのひとつと言えるだろう。

若手研究者には、まずは外部資金の獲得を目指せるように支援をしている。最初は少額でも外部資金が取れ始めるとその次も取れるようになる。さらにそこから発展的研究、融合的研究へと一步一步先に進むためには、現代の学術研究に求められている挑戦性、融合性、国際性などを満たしながら、かつ、大型外部資金への共同での応募や、異分野でのネットワーク形成が非常に重要となってくる。

このセッションでは、JSTの異分野ネットワーキング、国際的ネットワーキングを構築できるような支援策や、沖縄科学技術大学院大学の若手研究者支援プログラムをその例として紹介する。また、それら支援策の設計思想と外部研究資金への応募支援等個別の活動も紹介し、研究者自身と社会の双方を満足させるという挑戦的な目標を達成するための、延いては研究者が夢を実現できるように、研究支援に携わる側としてどういう支援を行えば良いのかという観点からパネリストとともに議論したい。

セッション担当者

藤松 佳晃：沖縄科学技術大学院大学
外部研究資金セクション
アシスタントマネジャー



岡山大学経済学部卒業。米系IT企業の営業本部でビジネスアナリストとして7年間勤務。2010年に東京から沖縄に移住し、OIST財務部へ、2013年から現職、外部研究資金のプレアワードとポストアワードに従事し、多国籍な研究者を支援している。

登壇者



山口 陽子: 国立研究開発法人科学技術振興機構 (JST)
科学技術イノベーション人材育成部
シニアフェロー

博士(医学)(東京大学)。理研基礎科学特別研究員、米国スクリプス研究所研究員、JSPS特別研究員RPD等を経て、2012年長崎大学にてURAに転向。2016年京都大学「京阪神次世代グローバル研究リーダー育成コンソーシアム」専属URA、2018年東京大学WPI/IRCN特任講師、2019年東京大学シニアURA認定、2020年よりJSTシニアフェローとしてMEXT事業「世界で活躍できる研究者育成プログラム総合支援事業」を担当。



杉原 忠: 沖縄科学技術大学院大学
外部研究資金セクション
マネジャー

東北大学理学部物理第二学科卒業。九州工業大学大学院情報科学専攻 博士(情報工学)。理化学研究所脳科学総合研究センター、米国ジョーンズ・ホプキンス大学、ロチェスター大学などでシステム神経科学、認知脳科学研究者として従事。2012年より京都大学学術研究支援室URA。2014年よりシニアURA、副室長。2017年よりOIST外部研究資金セクションマネジャー。RA協議会代議員。NCURA 2020 Chair of Region VIII (International Region)。



クレメント 浩代: 沖縄科学技術大学院大学
研究担当ディーンオフィス
パートナーシップコーディネーター

大正大学文学部卒業。大手特許事務所International Patent prosecutions Director、法律事務所パラリーガルチームリーダー等を得て、2011年から国際特許事務所の事業開発ディレクターを務める傍ら、2013年-2018年OIST外部研究資金セクションにて契約業務担当。OISTを退職し米国にて1年間でMBA修了。2020年External Partnership CoordinatorとしてOIST復職。研究担当ディーンオフィスにて戦略的な機関連携を推進。